

2020 年 4 月 2 日

全日本自転車競技選手権大会トラックレースの開催地公募について

公益財団法人日本自転車競技連盟

全日本自転車競技選手権大会は、日本国内における最高位の大会として、国際規則に準拠した 高度で円滑な大会運営と高いコストパフォーマンスを追求しつつ、さらに国際大会への派遣代表選手選考の機会として設定されており、この大会への参加は、国内のアスリートにとっても最大の目標となっています。

そこで、我が国における自転車競技の普及・振興を図るとともに、より安定的かつ長期的展望をもとに、下記の条件により開催地の公募を実施いたします。

記

1. 応募資格

開催地都道府県自転車競技連盟または地方自治体、もしくはそれに準ずる組織。

2. 応募要件

原則として以下の条件を満たすこと。

(1)開 催 日

2020 年 9 月 19 日（土）～20 日（日）：オムニアム／マスターズ

2020 年 9 月 25 日（金）～27 日（日）：トラック／パラサイクリング

(2)競 技 場

① 周長 250m～335m

② JCF 公認自転車競技場 もしくは周長測定を完了した競輪場（見込みも可）

(3)アクセス

参加選手、観客のアクセスに適していること。

（自動車、公共交通機関のいずれによっても近傍までアクセス可能なこと）

(4)準備業務負担

① 競技場使用許可、その他必要な許認可は開催地行政・都道府県連盟が取得する。

② 競技に直接関わる分野を本連盟にて準備する。

③ 設営その他は協議による。

(5)競技役員

① 概ね 15 名程度の競技役員を中央競技団体より派遣する。

② 概ね 15 名程度の競技役員（補助員を含む）を開催地都道府県・近隣都道府県連盟より派遣する。

③ 必要に応じた総務員を開催地自治体・都道府県連盟より派遣する。

(6)費用負担

原則として、競技運営経費のうち概ね 1/5 から参加料収入を差し引いた額を開催地応募者にて負担のこと。※詳細については本連盟にお問い合わせください。

(7)宿泊施設

チーム、競技役員関係者が宿泊可能な十分な数が周辺で確保されること。（概ね 300 名程度以上）※詳細については本連盟にお問い合わせください。

(8)駐 車 場

競技運営、観戦に必要な駐車台数が競技場付近に確保されること。

(9)雨天対応施設

① 式典・競技運営・選手控え等、雨天対応施設のあること。

② ライセンスコントロール、会議等の開催可能な会議室のあること。

3. 応募方法

応募フォーマットに記入して E-MAIL にて応募すること。なお、上記応募要件をすべて充足することは、必須条件ではなく一部を充足しない場合でも応募することができる。

4. 応募期限

2020年4月20日（2020年大会）

2021年以降についても随時募集するが、応募の有無にかかわらず伊豆ベロドロームにて開催する年もあるのでそのことを了承の上で応募すること。また、審査の結果、該当無しの場合は再公募を行うことがある。

5. 選考方法

書類審査・現地査察・開催応募地との協議を通じて行う。

6. そ の 他

応募状況に応じて適宜視察を行う。予算策定にあたり必要な情報提供を行いますので、応募にあたっては下記までご相談ください。

なお、昨今の情勢を鑑みて日程等を変更する必要があることをご了承ください。

以上

公益財団法人日本自転車競技連盟

業務部

〒141-0021

東京都品川区上大崎 3-3-1

自転車総合ビル 5 F

E-mail: gyomu@jcf.or.jp

Tel: 03-6277-2690>